

久保・長江中学校区に係る小中一貫教育校開校準備委員会（第10回）議事録

- 1 日 時 令和6年7月19日（金） 19:00～20:25
- 2 場 所 尾道市役所 4階 大会議室2
- 3 出席者 宮本教育長
出席委員 久保小学校長、長江小学校長、土堂小学校長、山波小学校長
久保中学校長、長江中学校長
久保小学校育友会長、長江小学校育友会長、土堂小学校育友会長
山波小学校育友会長、久保中学校PTA会長、長江中学校育友会長
宮本教育長、中瀆教育総務部長、小柳学校教育部長、末國庶務課長
安保学校経営企画課長、金子教育指導課長
事務局9人

4 進 行

担 当	内 容
宮本教育長	<p>（19:00 開会）</p> <p>皆様こんばんは。大変暑い中、また昼間のお仕事等で大変お疲れの中、本開校準備委員会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。本日の会議では、各検討部会からの進捗状況の報告、また校章や閉校式等の説明を確認、施設整備についてのご説明をさせていただきます。</p> <p>特に施設整備につきましては、これから求められる新しい学習環境に対応し、子どもたちの学校生活がより充実するよう、保護者の皆様や学校の教職員の皆様からのご意見を伺いながら、基本設計を進めてまいりました。皆様からいただいたご意見は、可能な限り基本設計に反映させ、子どもたちや保護者の皆様に喜んでいただける教育環境が実現できるのではないかと考えております。この会議に先立ちまして、本日午前、市議会議員を対象とした議員説明会を開催いたしまして、令和7年4月の尾道みなと中学校区小中一貫教育校の開校に向けて開校準備委員会や各検討部会で協議しております現在の進捗状況や施設整備について、ご説明をいたしました。本日の議員説明会では、新校舎の基本設計等につきまして、議員の皆様から一定の理解を得ることができたと捉えております。本日、この会議では、新校舎の基本設計等について議員説明会と同じ資料で説明をさせていただき、皆様と新校舎の基本設計につきまして、最終的な合意形成を図っていきたくと考えております。</p> <p>今後の新校舎建設に向けた工程といたしましては、新校舎の詳細な実施設計に移りまして、年度内の完了に取り組むとともに、令和7年度予算に新校舎の建設費等を計上し、必要な予算の確保に向けて、教育委員会として全力で取り組んでまいります。</p> <p>小中一貫教育校の開校に向け、一步一步着実に前進できておりますの</p>

は皆様方のご尽力のおかげでございます。深く感謝申し上げます。本日7月19日は山波小学校はじめ、市内のほとんどの小中学校では1学期の終業式でございました。久保小学校・長江小学校・土堂小学校につきましては24日が終業式、久保中学校と長江中学校は29日が終業式となっております。また、夏季休業中には各学校におきまして、尾道みなと小中学校に持って行く物品などを整理する作業が計画されております。終業式の日程や夏季休業中の予定が、例年とは異なるスケジュールとなり、ご負担をおかけすることも多いと思いますが、今後も引き続き、お力を貸していただきますようお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶といたします。それでは本日よろしくお願ひいたします。

小柳委員長

1. 第9回開校準備委員会以降の進捗状況の報告

まずは、開校資料1、現在の進捗状況について、太字が追加した部分になる。最後の校章の選定についてと施設整備の提案等について、日時が太塗りになっている。この他にも随分昔になるが、提案をしている部分について、まだ最終決定日になっていないものもあるが、どれも進捗の方はしており、まだ最終決定にないだけ。またこのように、進捗状況を確認しながら適切に適正に進めてまいりたい。

開校準備委員会だよりは7月11日にNo.10を発行した。保護者の方もご覧いただいているかと思うが、また、地域や議員等にも情報提供するとともに、ホームページにも掲載をしている。

議員説明会を先程、教育長も申したが、本日開催している。内容については、小中一貫教育校に向けた進捗状況や施設整備について、ということになっている。

議員からは、いくらか質問等もあったが、まずは、「学校選択制度について複数学級が理想ということで、教室数の整備等もしていつているが、学校選択制度を使って学級数を増やそうとしているのか。」と、また再度あったため、制度内での運用をしていくということ。

「特別支援学級について、1学級あたり最大でも8人なので、1教室を2つに最初から分けて使うようなことも出来るのではないか。」という質問もあった。1学級は1学級なので、教室を整理して64㎡の教室を整備していく方針で、最終的にいろんな特別支援でも、肢体不自由とか病弱とか難聴とか、そういうのができるのであれば、1つの教室を2つに区切って使うことも可能性とすればあるということ。

それから「放課後児童クラブの位置がイエローゾーンにかかっているところがあるのではないか。」ということだったが、現在は避けて整備する方針ということ。

<p>総務等検討部 会長（土堂小 学校長）</p> <p>事務局（石川 庶務課管理係 長）</p>	<p>また、「水泳授業は何時間ぐらいしているのか。本当にその学校その学校にプールは必要なのか。民間の施設を活用すればいいのではないか。」ということだったが、現在、市内の小学校では各学校にプールを整備する方針でやっているとお答えしている。</p> <p>また、「叡智学園を参考に、施設の整備や学習の内容・環境を整えるということだったが、最初の頃ホームベース（荷物置き場の部屋）を造るというような方針でやっていた。それがどうなったかと、今もう見えなくなっているの、信念を持って最初に提案しなければいけないのではないか。」ということだったが、整備面積等を考え、学校の意見を聞く中で、ホームベース方式は今では提案していない。</p> <p>それから「通学支援。通学距離が最大小学校で2.8キロあるが、通学支援はどう考えているのか。」ということで、路線バスを活用した通学支援対策を現在検討中と返している。</p> <p>また「プールの場所について、小学校は4階設置を考えているが、例えば校舎内の1階に入れたら、予算は4階と1階ではどれぐらい違うのか。」というような質問もあったが、それについて直接お答えはしていない。</p> <p>以上のように議員から意見が出たが、今回、この後見ていただく基本設計案について、特にここはいけないのではないかと、事業費について努力が足りないのではないかと、そういった意見は出なかった。</p> <p>2. 各部会の進捗状況と今後の予定について報告</p> <p>○総務等検討部会</p> <p>資料2をご覧ください。総務等検討部会は7月16日（火）19時から土堂小学校にて行った。検討事項は、ここにも書いてあるように4点。1点目施設整備について、2点目開校に向けた引っ越し作業等スケジュールについて、3点目校章について、4点目閉校記念式典について。詳細は事務局から報告するが、今回は9月以降を考えている。</p> <p>事務局から補足を行う。主な議題としては7月16日も施設整備について時間を費やして協議をした。開校資料2の1枚目レジメにあるとおり、ア)、イ)、ウ)、エ) というような提案等の手順で説明したが、まず6月24日の開校準備委員会で皆様にお話ししたことを後で、振り返りをした。</p> <p>その後、ウ)として、皆様からいただいた意見を反映した基本設計案の提示を行っている。資料としては18ページまでは開校準備委員会での資料ということで、振り返りに使わせていただいた。</p>
---	---

今日この後、施設整備の話もあるので、総務等検討部会の報告において簡単に触れておきながら、協議の時間にいきたい。19ページから21ページについて、総務等検討部会では提示したが、6月24日の後、各育友会そしてPTAの会長にご協力いただいて、皆様からの保護者様の意見をいただいた。それをまとめた意見を、ジャンルごとに報告している。読みあげると丁寧だが、時間の関係もあるので、細かい内容については、このあと資料にて確認をしていただきたい。主に、いただいた意見の中で採用できる面、修正を行って、7月16日案ということで、修正案を提示した。

23ページから28ページまでは、皆様からいただいた意見の一覧、そして長江中学校は、いいレイアウトでいただいたので、そのままのもので協議している。

この後、説明するが、基本設計案の図面のレイアウトや修正点等を説明した。大きな変更点に生じるようなご意見はなかったが、今後の課題として、「最近、長江でもネット環境について、少しスピードが遅いことがあり改善をお願いする。」というような意見はいただいている。

その他は、大きな議題はなかったので、概ね総務等検討部会では、基本設計案についてご理解いただいたと考えている。この後、開校準備委員会でも説明し、協議確認を行っていくという段取りとなっている。その後、また違う観点で、総務の資料4-1・4-2で、令和7年から8年の校舎レイアウトについて、まとめてある。

まずは総務等検討部会で内容を説明させていただき、協議を行っている。こちらについても、概ね、検討部会の中では皆様の了解を得た。この後、開校準備委員会の中でも改めて内容を説明し、協議確認をさせていただく。詳しくは後程。

残りは引越しのスケジュールということで、夏の引越しの多くは不要な物品を捨てる処分の期間に充てたいということと、8月5日、6日、各小学校・中学校の先生方の協力を得ながら、統合校で使う物品の選定作業をしていくことを皆で確認して、施設整備の内容の協議等を終わった。

校章と開校・閉校記念事業については担当をかわる。

事務局（宮崎
学校経営企画
課企画振興係
長）

検討事項（3）校章について、尾道市立大学の伊藤准教授から、AからE案までの5案が提案されたことを報告し、それぞれのデザインコンセプトについて説明をした。この5案から1案へ、絞り込み方法として事務局から大まかな校章制作スケジュールと校章デザイン案の選定方法を提案し、この案について了承を得られたところである。この後、4

<p>小柳委員長</p>	<p>の確認および協議事項についてで、開校準備委員会でも校章について協議をしていくので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>検討事項（４）記念式典について。閉校式の来賓名簿について、木頃小学校を参考にした来賓者名簿の提示と、今後、学校や実行委員会で来賓者を選定する旨の説明を行った。また、閉校式の日程と式次第を紹介し、式の所要時間は概ね４５分と説明した。また、式のタイムスケジュールについて紹介をした。長江小学校育友会と長江中学校育友会から、閉校式と閉校記念事業は、全く切り離して進めてほしいとの意見が出たので、各校の運用状況に応じて、今後進めていきたいと思う。</p> <p>また、会議後になるが、土堂小学校育友会からは、閉校式の前に記念碑の除幕式を行いたいという提案があったので、今後閉校式の時間調整を行う可能性があることを申し添える。</p> <p>また、施設整備についてはこの後説明があるし、校章の決め方についても再度提案をさせていただきたいと思う。</p>
<p>生徒指導等検討部会長（長江小学校長）</p>	<p>○生徒指導等検討部会</p> <p>前回の開校準備委員会以降は部会の開催はなかった。今後の予定としてはレジメにもあるように、路線バスを活用した通学支援について、前回の開校準備委員会でお伝えしたように、小部会の第１回目を７月２４日１９時から人権文化センターで開催する。</p> <p>また、第７回生徒指導等検討部会を８月８日１９時から久保中学校で開催する予定。内容は、学校規定品については小学校の制服等について、その他にも路線バスを活用した通学支援について７月２４日に行う小部会の検討内容の報告をする。</p> <p>その他では中学校における自転車通学の在り方について、自転車を許可する距離の要件案が出ているので協議を行う予定。</p>
<p>土堂小学校育友会会長</p>	<p>小部会についてだが、学校ごとと伺っていたが、もう一緒にするという感じか。同じ部屋でなのか、どんな形で開催されるのか。</p>
<p>事務局（山本学校経営企画課企画振興係主任）</p>	<p>久保小・長江小・土堂小のそれぞれの保護者の方とか先生方と、教育委員会とも一緒になって、その場で協議をさせていただく予定。</p>

<p>教育課程等検討部会長（山波小学校長）</p>	<p>○教育課程等検討部会</p> <p>7月16日（火）に協議した内容は大きく3点。</p> <p>1点目は、尾道みなと小学校・尾道みなと中学校の教育計画の作成について。尾道市の学校は全校で教育計画という、かなりいろんなものを網羅した1冊の冊子があるが、学校経営構想や学校評価、学力向上、豊かな心と体の育成、保健給食安全指導、それら全部、学校の教育内容の全部を網羅した計画書になる。例えば、私がいる山波小学校なら、過去の実績から、次年度に向けての改定をすることで終わるわけだが、新設校には過去の実績はない。そこで4小2中の教務主任の先生たちに集まっていただき、現在の自分の学校のものを踏まえて、新たな学校の教育計画、この策定を進めている。これについては8月末までに、できる範囲のところまで想定してやりきって、いったん完成をさせたい、そこからまたさらに修正を加えていきたいと考えている。</p> <p>2点目は今日、山波小学校は終業式で、子どもたちは夏季休業中となるが、ここで学力向上研修に関する取り組みについて話し合いを行った。7月16日の教育課程等検討部会の中で4小2中の研究主任が学力向上に向けた研修会についての立案を行っている。現在この研修は、8月27日（金）に実施の予定。この研修は実に6校の職員が一堂に会するという研修会となるので、そこで、新設となる小中一貫教育校の学力向上に関して、今年度4月に行われた全国学力学習状況調査の結果分析を、それぞれが持ち寄って協議し、2学期からの授業改善について方向性を導き出していきたいと考えている。この研修会に参加した全員の教職員がベクトルを揃えて、2学期からの指導に当たれるように取り組んでいきたいと思っている。</p> <p>最後3点目は、小学校の児童間交流について。1学期の間に3年生と6年生で1回ずつの交流を行っている。2学期以降、いつ、どこで、どのように行うか、実施計画を確定したいということを目指している。8月5日（月）に、統合となる3小学校が土堂小学校で合同作業を計画しているので、3小学校の教職員はそのまま土堂小学校に残っていただき、山波小学校の職員はリモートで参加する形で合同の学年会議を計画している。ここで2学期以降の児童間の交流の予定を確定していきたいと考えている。</p> <p>以上で報告を終わるが、次回の部会については現在のところ未定となっている。しかし、教育内容の基礎となる部分が徐々に出来上がってきているので、引き続き2中4小で協働して業務を行いながら、開校の準備を進めていきたいと考えている。</p>
---------------------------	---

<p>小柳委員長</p> <p>事務局（宮崎 学校経営企画 課企画振興係 長）</p>	<p>児童間交流も始まって、私も聞いている範囲ではすごく解け合っていると いう効果が出ているとお聞きしている。2学期以降の交流にもさらなる 期待をさせていただきたいと思う。</p> <p>3. 質問事項の回答について</p> <p>開校資料4をご覧ください。小学校中学校の閉校式の概要として 閉校式の日程と式次第を掲載している。閉校式の所要時間は小中学校と もに45分を見込んでいる。裏面には令和6年度の閉校式の来賓名簿の 案を載せている。今後、学校や閉校記念事業実行委員会と協議の上、地 元来賓者等を選定していく。来賓者には教育委員会から案内状を送って いく。2枚目の裏面は3月8日の各校の閉校式のタイムスケジュール、 表面の方が9日のスケジュールになっている。こちらの方を参考にして いただきたい。総務等検討部会でも申し上げたが、3月8日の土堂小学 校の閉校式については、少し変更の提案があったので、今の段階だと13 時半から記念碑の除幕式、14時から閉校式を行うことで調整をしてい きたいと思っている。</p> <p>次に、開校式について資料5をご覧ください。尾道みなと小学校、 尾道みなと中学校の開校式の概要になる。日程は尾道みなと小学校が令 和7年4月7日（月）9時30分から、尾道みなと中学校は令和7年4 月7日（月）13時30分からを予定している。式次第は下に記載して あるとおり。所要時間は45分を予定している。なお開校式には、校章 制作者や校歌の作詞者・作曲者を来賓として呼び出す予定。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>前回ご質問いただいた部分で回答をさせていただいた。特に閉校式に ついて、ここは市教委主催の部分を抜き出しているが、この横のタイム スケジュールだが、多分記念事業等が続けてやられたりとか、前後でや られたりという場合に、大体のこの閉校式の時間帯というのを示しし ているので、参考に前後の予定を作っただけであれば、総務等検討部 会でもお示しをしている。ここの部分で質問があればお願いします。</p> <p>（質疑応答なし）</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>ここはこれからいっぱい質問もあると思うし、教育委員会とPTAと か地元の実行委員会と連携をとらないとできないと思うので、随時、連 携させていただければと思うし、ご質問があれば遠慮なくしていただ ければと思う。</p>

<p>小柳委員長</p>	<p>4. 確認及び協議事項について</p> <p>(1) 校章について</p> <p>資料は総務等検討部会資料6を見ていただきたい。校章制作スケジュールと校章デザイン案の選定方法について書いてある。総務等検討部会の中で提案した校章デザイン案の選定方法だが、これは校名とほぼ同様の決め方により、決定したいと提案をして了承を得られている。9月の開校準備委員会において、委員17人の投票により校章デザイン、現在5案提案しているが、1案に絞って決定していきたいと思っている。開校準備委員会で9月のところで、そこまでに各所属において、校名決定のときと同様に1案に絞って持ってきていただきたいと思っている。ただしAからE案からというのは、小中学校が同一のコンセプトでデザインをしているので、小中学校ともに同一案を選定して持ってきていただきたいと思う。小学校はA、中学校Bとかいうのではなくて、小中Aというところでやっていきたいと思う。</p> <p>投票の仕方だが、委員長を除く16人によって投票を行い、決めたいと思う。校名のときに小学校が同数だったので、最後は私が一票入れて決めたが、同数の場合には同様に最後は私の方で一票入れたいと思っているので、このやり方でいきたいと思っている。</p> <p>校章について何かご質問があればお願いしたい。</p> <p>(質疑応答 なし)</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>提案のとおり、次回、開校準備委員会で1案に絞っていくやり方で実施するというところでよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>そのように進めさせていただく。</p>
<p>事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>(2) 施設整備について</p> <p>施設整備について説明を行う。開校資料6-1というスライドの写しをお渡ししている。画面を動かしながら説明させていただくので、画面の方を見ていただく方がいいと思う。そして、それとは別に、A3の図面をお配りしている。こちらについては、後でじっくり見たいというときのためにと配っているなので、まずはスライドの説明ということにさせていただきます。</p> <p>本日皆様で確認したいことは、先程の総務等検討部会で報告した2点。</p>

1点目は、新校舎の基本設計図、これについての協議確認、その後、令和7年度8年度で使う校舎のレイアウト案を皆様に説明をさせていただきたい。

順番としては、新校舎の施設整備について説明を行い、総務等検討部会で了承をいただいた図面をもとに、このスライドも作っている。意見の方も見ておいてほしいということで、先程報告でもお願いした。中でも、保護者さんの意見があつて変更したところを説明させていただく。まずはスライド説明をさせていただいて、質疑応答ということにさせていただきます。

冒頭でもお話ししたが、このスライドは基本的に本日の議員説明会と同じスライドである。多少、前回の議員説明会はというところが、前回の開校準備委員会ではなど、多少、文言の違いはあるが、基本的には一緒のスライドとなっているので、そういう形で聞いてほしい。

施設整備の説明について、現在の進捗状況だが、小学校中学校と契約を分けて業務委託契約を締結し事業に着手をしている。これまでの説明の中で基本設計を令和6年6月末の完了を目指していたが、建物内の諸室の配置の調整に時間を要し、現在では7月完了で進めている。先程申したが、本日令和6年7月19日、基本設計案を提示して説明を行った。

この基本設計の図面の決定については、4月19日議員説明会と同時に、開校準備委員会でもこの図面を提示しているが、その後、4月19日案に対して、育友会PTAを通じて保護者の意見を伺って修正を行ってきた。このことについて、6月24日（月）の開校準備委員会でも図面を提示させていただいた上で、再度皆様のご協力をいただき、2回目の保護者の意見を伺うとともに、学校教職員の意見も伺って本日提案しているこの令和6年7月19日基本設計案を作成している。この設計図の案は、本日11時から市役所にて、議員説明会でも説明を行った。本日、開校準備委員会での協議確認後、基本設計図の決定ということにさせていただきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

少し振り返りからになるが、4月19日の開校準備委員会は、24日の総務等検討部会のこととはなるが、そのときの段階では、小学校は4階建て、校舎に屋内運動場、プールを備えた延べ床面積5042㎡であること、そして建築場所は敷地の西側なのか東側なのかというのはまだ検討中であった。

また、中学校は3階建て、延べ床面積4602㎡の校舎として、当初の整備の面積よりも約600㎡の縮減を図った案をご説明し、その後、2回にわたり、意見集約をし、皆様のご協力のうえ集約させていただ

たので、保護者様の意見、学校教職員の意見を踏まえ修正を行ったのが、現在の段階である。

そして今日提案させていただき令和6年7月19日、小学校基本設計案は、まず、放課後児童クラブについて、余剰スペースが生じた際に新校舎内に配置することとし、それまでは現在の長江中学校の校舎内へ設置していく予定となっている。いろいろ検討する中での修正点だが、先程の4月19日からということだが、校舎の建築場所を決定した。そして、令和6年5月1日調査で、最新のクラス、子どもの数の推計により普通教室・特別支援教室の数を決定した。

先程申した修正点1 グラウンドの西側へ校舎建築の場所を決定した考え方だが、その利点として、運動場内にトラックが大きく確保できるということ。そして職員室等からグラウンド側が広く見渡すことができるので、安全確保に繋がるということ。そして、工事期間中の安全確保が優れているということもある。工事現場のすぐ横を通らなくてもグラウンドが使えるというメリットもある。そして敷地東側、長江通り側に配置すると、万が一と言ってはいけなのだろうが、都市計画道路整備のときには影響を受けやすいというデメリットも抱えていることを回避しているような案にもなっている。以上の4点から敷地西側へ校舎を配置することを決定した。

次に修正点2 令和6年5月1日調査による普通教室・特別支援教室の数の決定。この調査の結果から、令和9年は通常学級10、特別支援学級が3という推計を行っている。小学校の特別支援教室の整備ということでいろいろご意見をいただいているが、推計においては3学級で、先程ご紹介させていただいた。

しかし近年、特別支援学級がやはり増加傾向にあるという状況がある。理由としては、障害のある児童生徒の自立や社会生活に向けて一人一人の教育的ニーズを把握し、生活上や学習上の困難を克服するため、適切な指導と支援を行う特別支援教育という考え方に対し、早期療養等の理解も広がってきたという背景もあり、特別支援学級の希望者がやはり増えている状況にあると考えている。特別支援学級というのは改めてお話しするが、8人が1学級となる。令和6年度は知的障害特別支援学級が2学級、自閉症・情緒障害特別支援学級が3学級、5学級というのが現在の状況。令和6年5月1日調査においては、令和7年度以降に入学する未就学児について、特別支援学級に入級するかというのが、現時点ではわからないことから、全て通常学級に入学するという事で算出をしている。よって令和9年でのデータでは、表に示す特別支援学級の人数は4年生から6年生までの数値ということで、推計においては、この数

値に特別支援学級に入級する1年生から3年生の人数を加えていくことが必要な、そのようなデータになる。そういうことで少し推計に加算していくこともあり、現在の3学級ということではなく、令和9年度の特別支援学級の数は5学級になる可能性もあるというのが、我々教育委員会の考えということで今まとめている。

それを踏まえて、特別支援教室の数だが、5教室の確保ということで、この基本設計を作っている。保護者様の意見からもこの状況から当初案は、特別支援教室の数が足りないという意見もいただいたし、室内の環境を充実してほしいという特別支援学級に対する要望というのも多く寄せられた状況もある。その結果、この基本設計案についてだが、今、赤丸で出すが、普通学級10、そして、紫の特別支援教室については最大5部屋まで設置し、状況に応じて四角で囲んだ場所にはなるが、専科教室やカウンセラー室へ転用というような配置を考えている。

また、保護者の意見の中で、特別支援学級の児童と通常学級の児童の交流についても多く意見をいただいている。同じフロアが良いという意見をいただいたことから見直しを行っている。そして万が一、学級数の増加が生じた場合にも対応できるよう、84㎡の教室を最大12学級整備して、学級数増にも対応できる、そのような設備にさせていただいた。

少し補足説明になるが、新たな学習に対応した施設整備のことを説明しておきたいと思う。今回新たに整備する施設は、やはりこれから求められる新しい学習環境に対応した施設にする必要があると考えている。そのコンセプトを元に設計しているので、改めて少しこのことに触れて詳細に行きたいと思う。

尾道みなど小中学校では、尾道らしさのある9年間の学びの創造のため、英語教育やキャリア教育の充実を図っていくとともに、これまで各学校で引き継がれてきた特色ある教育活動を再編成し、新たな学校文化を育てていくというようなところと、同学年だけでなく、異なる学年の児童生徒や地域の人々と協働して主体的に問題解決を図っていく学びを充実し、充実していくことで「知・徳・体」をバランスよく育み、変化の激しい社会の中で活躍するために必要な生きる力を育成していく。そういう考えで進めている。尾道らしさのある9年間の学びの創造に向けて、教育内容の充実を図るために、教育環境の整備として、次の2点を考えている。

1点目は、ワーキングスペースによる学び合いの充実ということで、児童生徒が主体的に考え、協働的に学んでいく学習過程において、グループで話し合ったり、プレゼンテーションをしたり、様々な活動が考え

られ、ワーキングスペースのような活動スペースがあれば、より活動の幅が広がるということが期待されていく。

2点目として、専科教室等による教科指導の充実。例えば英語教室で活用する場合、教室全体の掲示物や座席配置等を工夫し、普通教室で学ぶより英語を学ぶ環境を充実させることができると考えている。イメージになるが、84㎡の普通教室を整備させていただいている。

各教室へワーキングスペースの創出ができているという形のイメージ図になる。教室内で黒板に向かって学習する一斉授業だけではなく、グループ協議などを行うことができる空間の創出を行っている。そして、こちら専科教室、ちょっと分かりづらいかもしれないが、英語教室というようなことで、英語の掲示による普通教室より充実した学びができるような空間。そして図書室もワーキングスペースとして利用できる、そんなことを想定している。これらのスペースについては、84㎡の普通教室の設置、そして、専科教室というものを設置して、新たな学習に必要な諸室整備を行っている。

以上の修正点を加えて、踏まえ、令和6年4月19日の案からは特別支援教室の増加を行った。

その裏返しで、共用部分のスペースの見直しや、複数の機能を有した教室、兼用できるような教室や他の用途に機能変更していける、転用できる教室の再検討を行いながら、充実した教育環境となる配置という見直しを行ってきた。

小学校の新校舎は鉄筋コンクリート造で4階建て、屋内運動場・プールを校舎に設置し、延べ床面積5272㎡、プールを除き5092㎡となっている。詳細はA3の図面で見いただきたい。

続いて、今度は令和6年7月19日現在の中学校基本設計案についてお話しする。中学校の校舎の建築位置については以前の説明と変わらず、敷地の北側で進めていく。この令和6年4月19日のレイアウトについて、修正点は小学校と同じく、令和6年5月1日調査による普通教室・特別支援教室の数の決定、普通教室の配置について課題がある配置について変更を行っている。1階2階3階に分けての配置となっている。そして第2理科室の設置というところに少し変更がある。あとはSSR（スペシャルサポートルーム）の配置、大きさの変更を行ってきた。

小学校同様、令和6年5月1日調査による普通教室・特別支援教室の数の決定に関し、中学校をこのデータに対して、普通教室9、特別支援教室3という整備を行っていく。

中学校の場合には、小学校での特別支援学級の状況が把握できている

という事情もあるため、調査表の数値での整備としている。また、特別支援教室の室内の環境を充実してほしいという意見も、小学校同様いただいているため、実施設計の中でこの点は検討していきたいと考えている。

次に普通教室の配置の変更について、以前出した図面の中に、2階へ3学年の全ての普通教室、同一フロアでの配置を行っているが、今回の修正において、学年ごとに別フロアでの配置に変更している。理由としては、学校から3学年が同一フロアではなく、階層を分けた方が落ちついた学習環境が整うのではないかという意見があったこと。また、保護者様からも受験を控える3年生はフロアを分けて学習に集中しやすい環境が良いのではという意見をいただいていることを勘案し、普通教室を1階2階3階に分けた配置にした。

また、同じく保護者の意見で、特別支援学級と通常学級の交流が中学校においても欲しいという意見もいただいた。2階に特別支援学級を置き、少しその点も配慮した案とした。このあたりの配置について、最終的には令和9年度の学校長の判断で変更は当然あるということについてご了承いただきたい。今、中学校では普通教室を9学級、各フロアに分けて配置をした案とし、特別支援教室を2階に配置という案を作っている。

修正点の3つ目、第2理科室の設置だが、こちらは学校との意見交換の中で、理科の教科担任が2名配置される見込みがあるので、授業の準備の関係上、第2理科室が必要という意見があったことから変更をし、ここに第2理科室を新たに追加している。

そして、SSR（スペシャルサポートルーム）の配置、大きさの変更について、保護者の意見の中で、長江中学校の現在のSSR教室と同等の学習環境の整備を求める声が多いこと。そして学校からの意見で、SSRの教室は校門に近い方がいい、そしてグラウンド側でない方が良いのではないかと場所の見直しも行った。その結果、第2理科室を3階に新たに設置し、SSRの位置も、今、図面で示すところに変えて大きさの方も少し大きくしている状況。

以上の修正を踏まえて、中学校の作りは、鉄筋コンクリート造3階建て、延べ床面積4550㎡。詳しくは添付図面をご覧ください。

次に、事業費の説明について、以前の令和5年6月7日議員説明会において、約64億円と事業費を提示した経緯から振り返りを行って説明するが、まずは小学校が約33億円とお示しした。

そして中学校は約31億円と紹介をし、計約64億円と、一度説明を

した。

今回の基本設計案の事業費について、新校舎の建築費用は、先程説明した案の延べ床面積小学校5272㎡に、基本設計完了時の㎡単価を乗じて事業費の再算定を行った。結果、屋内運動場プール付きの校舎部分、約27.9億円となっている。また、設計費部分について、現在、基本実施設計の契約をすでに行っているため、契約額での再算定を行い、約1.1億円。その他の数値については、現段階で詳細が決まっていないため、従来の数値のまま小学校の総事業費を再算定し、現時点、約31.9億円で説明をしている。

中学校も同様に再算定を行った結果、約29.3億円が中学校の費用として見込んでいる。その結果、この令和6年4月19日基本設計案については、中学校・小学校総事業費約61億円という想定になっている。

まとめとして、建物の面積や事業費の比較表を付けた。あくまで議員説明会ベースと資料になっているが、その点はご了承いただきたい。約64億円の案を提示して、令和6年5月1日調査による整備教室数の見直しや廊下やフリースペースなどの共用スペースの見直しと兼用や転用ができる教室の再検討を行ってきた。今回提示した令和6年7月19日基本設計案においては約61億円という事業費になったが、その事業費減額の要因は、共用スペースの見直しと兼用や転用できる教室の再検討により、延べ床面積が458㎡縮減したことに伴い、事業費が2.91億円の減額となっていること。そして、設計業務の契約締結により契約額での再算定を行い、その影響で事業費が4600万円減額となって、最終的には計3億3700万円の減額という報告をしている。

なお、一番下に書いているが、総事業費については、これから実施設計等も進めて、令和7年当初予算の要求時に改めて提示するというタイミングになると、昨今の物価上昇の影響もあり、事業費が変更となる可能性もあるということをご留意いただきたいと説明をしている。

最後になるが、新たに整備する尾道みなと小学校・尾道みなと中学校の設計にあたっては、開校準備委員会等々、保護者の皆様と意見交換を重ねてきた。尾道みなと小学校・尾道みなと中学校はこれから求められる新しい学習環境に対応した、子どもたちにとって充実した学校生活を送ることのできる学校になると期待をしている。尾道みなと小学校・尾道みなと中学校と山波小学校が児童生徒にとって、毎日楽しく生き生きと教育活動ができる学校・保護者・地域から愛され、誇りに思える学校を目指し、令和7年4月の開校、令和9年4月の新校舎使用に向けて全力で取り組んでいく。

	<p>以上で教育委員会からの説明は終わり、今日、議員説明会でも説明し、皆様にも概要を説明させていただく。</p> <p>A 3 の図面 1 枚目、開校資料 6 - 2 が小学校の配置図になる。裏にはイメージのパース図を付けている。このパース図は現時点のもので、設計会社はいいものに変えようと、また違う絵も持っているみたいだが、あくまで今の段階でのイメージということでご覧いただきたい。中学校も資料 6 - 3 で平面配置図と平面図、同じくパース図を付けている。基本設計という段階を完了し、今後は細かな数量を拾う実施設計という段階に入ろうとしている。今日は、この開校準備委員会で、今、提示した案について、質疑応答を経た上で案を決定していきたいと思っているので、よろしく願います。</p>
小柳委員長	<p>ただいまの説明について質問等あれば願います。</p> <p>いかがか。これまで本当に 2 ヶ月間、様々な角度で見させていただき、本当にたくさん意見をいただいて、できる限り反映した案にはなっているのではないかと思うが、よろしいか。</p> <p>(質疑応答なし)</p>
小柳委員長	<p>では確認をしたい。施設整備については、ただいま提案させていただき、また確認させていただいた方向で進めてもよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
小柳委員長	<p>それではこの案で進めさせていただく。本当に夢のある、子どもたちが毎日元気に通える学校を全力でつくっていききたいと思う。</p>
事務局（石川庶務課管理係長）	<p>すいません。私の説明の方がもう 1 点。令和 7 年から 8 年の校舎レイアウトについても、この場で確認をさせていただきたい。施設整備の確認事項として、今お配りした開校資料 6 - 4、6 - 5 で、長江中学校の既存校舎での尾道みなと小学校の運用、久保中学校の校舎での尾道みなと中学校での運用のレイアウト案をお示しした。</p> <p>以前よりお話ししているが、こちらは主に教育委員会、関係校校長をはじめ関係教職員の皆様と協議を進めながら、物品系も、ある程度我々の方で案を絞り、ある程度、確定案ができた段階で、皆様の方と確認して決めていきたいと申し上げて行ったものになる。7 月 16 日の総務等</p>

検討部会においても、この図面について説明をし、あらかじめ了承を得ているので、この場でも同じ内容について簡単に確認させていただき、協議確認をしたいと思う。

まず、資料6-4について、簡単にコンセプト、考え方をご説明しておく。まず、資料6-4、既存長江中学校の校舎と点線の中に、今の長江小学校の仮校舎のレイアウト図を付けている。大きくは職員室や校長室の管理室部門は、現在の長江中学校の場所をほぼ同じように使っていく。特別教室についても、現在の長江中学校の理科室、調理室等を使わせていただくという考え方で今作っている。

そして、普通教室の配置については、いろんな案が出て、既存校舎に固めるべきなのか、仮校舎を使うべきなのかというような観点もあり、やはり低学年においては、小学校の使用の方が、当然、水道の高さとかやりやすいという考えを持ち、仮校舎には1・2年生を、そして中学校の既存校舎には3・4・5・6年を配置するように、今、案を作成している。そして仮校舎の2年生が1階という配慮については、土堂小学校で義足の児童もいるという配慮から、なるべく上層階に上がらなくてもいい1階で2年生、2階に1年生ということにしている。細かいところは、また令和7年度での変更はあるが、大きくこのような考え方で校舎内のレイアウトを考えたことを報告する。

最後に、放課後児童クラブだが、現在の長江中学校の校舎、特別教室棟の1階、美術室と技術の準備室を利用して運用する。1階なので、セキュリティーの分離ができ、土曜等での活動もやりやすい、送迎もしやすいという観点から、放課後児童クラブでと考えると、2年間、まず1年目はこのレイアウトで、2年目はクラス等で多少変更があるかもしれないが、大きくはこのレイアウトで進めさせていただきたい。我々としては、この案をこの場で確認いただき、部屋の改修が必要な場所がどうしても生じてくる。予算の確保を、9月の補正予算でしながら事業を進める必要があるので、この場で確認させていただき、ある程度これをベースに進めたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

裏は中学校、6-5で、中学校のレイアウトをご覧いただきたい。こちらも先程と同じで、管理諸室・特別教室は、現久保中学校の位置を使うので、図面上側の久保中学校管理教室棟の配置は現在のほぼ久保中学校と一緒に。そして、久保中学校の教室棟の方へ普通教室を全部固めて配置した。議論の中では、仮校舎の方へどこか1学年を持って行ってという案はあったが、同じ校舎の中にいる方が学習環境としては整っているのではないかということで、このような配置になっている。その分、仮校舎については、部室棟がやはり工事に入ってくるので、部室機能を仮

<p>小柳委員長</p>	<p>校舎2階へ、そして1階部分を第2保健室や生徒指導室へという案にしている。</p> <p>令和8年からは、中学校にも給食配膳が始まってくるので、トラックの着く位置は、現在の仮校舎の場所で給食を配送するための受け取り、配膳室を使っていきたいという考え方でまとめた。</p> <p>簡単な説明ではあるが、今、見ていただいた6-4、6-5のような、図面で運用させていただきたいと思っているので、質疑応答があればお願いし、こちらについても今日決めていきたいと思っているので、よろしくお願いをしたい。</p> <p>やっぱり現場が分からないのでイメージも湧かないところもあると思うが、教職員と、もうかなり進めているということだが、質疑あればお願いしたい。</p>
<p>質問者 A</p>	<p>これはまだ案であって、これからいろいろと流動的に変わっていくということか。</p>
<p>事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>はい。ガチガチに決まってるものではない。ただし先程申したように、水回りの関係する部屋、特に特別教室等はこれで決めていきたいと考えている。要は普通教室でも学年の場所とかは、今後もし違う案があれば、十分流動的に動けると思っているが、そういう校舎の改修のために、大きなイメージを伝えたいと思っている。</p>
<p>質問者 A</p>	<p>はい。ありがとうございます。やっぱり給食の流れ、動線が一番大事などこになってくるのかなと思うので、しっかりよく見ておいていただきたいと思う。あと階段がちょっと大きいとか。トイレが古いとかいろいろ意見が出ている。</p> <p>保護者の皆さんにこれを見てもらって、また意見聞くということはあるのか。</p>
<p>事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>現時点で、前のように一斉にというのは正直考えていなかった。ただ要望が各育友会単位の中であれば、我々の方に届けてもらって一度見させていただきたい。全てに応えることができないかもしれないが、後からなかなか対応できないこともある。そういう意見があれば随時でも構わない。届けていただきたい。</p>
<p>質問者 A</p>	<p>今回これを見るのが初めてで、いろいろ意見が出てくると思うので。</p>

事務局（石川庶務課管理係長）	<p>また僕らは小学校なのですぐ見させてもらえるが、よその小学校はなかなか現場を見に行くことも今までないと思う。どこかでまた日にちでも決めて内覧会ではないが、ぜひそういうものもして意見を吸収していただいたら助かるかなと思う。</p>
質問者A	<p>はい。うちの中で協議し、当然、学校の先生方も協議して、どのような形がいいのか、今の意見を参考にして考えていきたい。</p>
小柳委員長	<p>よろしく願います。</p> <p>またご意見があれば、教育委員会の方に届けていただくということにするが、今後改修の予算をとっていかねばいけない諸事情もあるので、まず全体的な部分については、ある一定のところでご理解いただいて、まずは予算を獲得していきたいということもあるので、まだ修正すべきところはあるのでご意見をいただくということにしても、大枠についてはこちらの方で一定のご理解いただければと思うが、そういった方向でよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p>
小柳委員長	<p>内覧会とか、本当に保護者の方も気になられていると思う。尾道みなと小になるところは、長江小の方は大体分かるが、でも中学校の方は入ったことがないかもしれないし、イメージが分からないかもしれないので、そういったところはやっぱり配慮が必要だと思うので、事務局も検討の方よろしく願いたい。中学校も同じ。たぶん長江の中学校の方が、久保中の中まで入って見てはないかもしれない、そういったところも配慮を願いたい。</p>
事務局（石川庶務課管理係長）	<p>9月補正なので、もう7月中には、実はある程度の概算を出さないといけない。その間、修正のこともあるが、そこで決めて、内々には、実はもう現地を確認して改修内容の把握まで行っている。そういう意味で、この後意見聞いて対応できる幅には、当然限度があるが、入札の残が出たとか、そういうときには対応できる可能性もある。新たな気づきもあるかもしれないと考えているので、今そういう段取りで実はほとんど動いていることもお伝えしながら、いろいろと協議させていただきたい。</p>

質問者A	<p>もうちょっと早く、これは出していただきたかった。チェックして確認してというので、新校舎も大切だが、2年間はここで私らの子どもたちも勉強するので、そういう意味では早くして欲しかったというのはある。ただ、よくよく考えて、少しお金も多めにもらっておいて、いつでも対応できるような何か仕組みを考えていただけたらと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>
小柳委員長	<p>事務局の方、努力をするようにお願ひする。私の方でも内部ではずつと協議をしていたが、開校準備委員会では今日初めてということで大変申し訳なく思っている。すみませんでした。</p>
安保副委員長	<p>5. 各部会への検討依頼の内容について</p> <p>○総務等検討委員会</p> <p>総務等検討部会については、校章について、次回の開校準備委員会で校章デザイン案を選定するというので、それぞれの所属で児童生徒と教職員・育友会PTAの意見を聞いて、5案のうちから1案に絞っていただきたい。</p> <p>○生徒指導等検討部会</p> <p>生徒指導等検討部会については、継続して検討しているところだが、路線バスを活用した通学支援については、来週小部会も開催されるということで、詳細について検討を進めてほしい。</p> <p>中学校における自転車通学の在り方について、学校規定品について、生徒指導規程等についてということも、継続しての検討と開校準備委員会への報告をお願ひする。</p> <p>○教育課程等検討部会</p> <p>教育課程等検討部会についても、夏季休業中に教職員が集まる予定があるが、教育課程・教育内容等についても、内容の検討を引き続きお願ひする。</p>
小柳委員長	<p>6. 第11回開校準備委員会での協議事項（予定）</p> <p>主には校章について決定をしていくことがメインになると思うが、先程あったように、令和7年、令和8年の校舎の配置等については再度提案等をしていかなければいけないのではないかと思っている。</p> <p>7. その他</p>

事務局（宮崎 学校経営企画 課企画振興係 長）	<p>次回第11回開校準備委員会の開催日時について。 開催日時は、令和6年9月24日（火）19時から市役所にて開催したい。場所はまだ確定していないので、案内でお知らせする。</p>
小柳委員長	<p>以上で本日の議事は終了とするが、その他全体を通して何かお気づきの点とかご質問があればお願いしたい。</p> <p>（質疑応答なし）</p>
小柳委員長	<p>以上で閉会する。本日はどうもありがとうございました。</p> <p>（終了20：25）</p>